2021年05月

2021年5月2日 復活節第5主日 (白)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　使徒言行録 8:26～40 (新228)

第2朗読　一ヨハネ 4: 7～21 (新445)

福 音 書　ヨハネ 15: 1～ 8 (新198)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Of. 22改1 （詩篇22:26-32）

わたしはいなるで、あなたにをささげ、

をれるので、のげものをささげます。

しいはべてちり、をねめるはをします。

いつまでもやかながえられますように。

のてまで、すべてのがをめ、みもとにちり、のがみにひれすように。

はにあり、はをめられます。

にれてこのにむはことごとくにひれし、

にったもすべてみにをめます。

わたしのはずを、はにえ、のことをたるべきにりえ、

しげてくださったみのみを、のにずげらせる。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Pr.

。あなたはをぶどうのとし、たちをつなげてかしてくださいます。のにき、のをび、びにたされるようってください。あなたととともにただりの、の、、イエス・キリストによってります。アーメン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　使徒言行録 8:26～40 (新228)

8:26さて、主の天使はフィリポに、「ここをたって南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け」と言った。そこは寂しい道である。 27フィリポはすぐ出かけて行った。折から、エチオピアの女王カンダケの高官で、女王の全財産の管理をしていたエチオピア人の宦官が、エルサレムに礼拝に来て、 28帰る途中であった。彼は、馬車に乗って預言者イザヤの書を朗読していた。 29すると、“霊”がフィリポに、「追いかけて、あの馬車と一緒に行け」と言った。 30フィリポが走り寄ると、預言者イザヤの書を朗読しているのが聞こえたので、「読んでいることがお分かりになりますか」と言った。 31宦官は、「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」と言い、馬車に乗ってそばに座るようにフィリポに頼んだ。 32彼が朗読していた聖書の個所はこれである。

「彼は、羊のように屠り場に引かれて行った。

毛を刈る者の前で黙している小羊のように、

口を開かない。

33卑しめられて、その裁きも行われなかった。

だれが、その子孫について語れるだろう。

彼の命は地上から取り去られるからだ。」

34宦官はフィリポに言った。「どうぞ教えてください。預言者は、だれについてこう言っているのでしょうか。自分についてですか。だれかほかの人についてですか。」 35そこで、フィリポは口を開き、聖書のこの個所から説きおこして、イエスについて福音を告げ知らせた。 36道を進んで行くうちに、彼らは水のある所に来た。宦官は言った。「ここに水があります。洗礼を受けるのに、何か妨げがあるでしょうか。」 37† 38そして、車を止めさせた。フィリポと宦官は二人とも水の中に入って行き、フィリポは宦官に洗礼を授けた。 39彼らが水の中から上がると、主の霊がフィリポを連れ去った。宦官はもはやフィリポの姿を見なかったが、喜びにあふれて旅を続けた。 40フィリポはアゾトに姿を現した。そして、すべての町を巡りながら福音を告げ知らせ、カイサリアまで行った。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第2朗読 　一ヨハネ 4: 7～21 (新445)

4:7愛する者たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。 8愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。 9神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。 10わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。 11愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。 12いまだかつて神を見た者はいません。わたしたちが互いに愛し合うならば、神はわたしたちの内にとどまってくださり、神の愛がわたしたちの内で全うされているのです。

13神はわたしたちに、御自分の霊を分け与えてくださいました。このことから、わたしたちが神の内にとどまり、神もわたしたちの内にとどまってくださることが分かります。 14わたしたちはまた、御父が御子を世の救い主として遣わされたことを見、またそのことを証ししています。 15イエスが神の子であることを公に言い表す人はだれでも、神がその人の内にとどまってくださり、その人も神の内にとどまります。 16わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。

神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。 17こうして、愛がわたしたちの内に全うされているので、裁きの日に確信を持つことができます。この世でわたしたちも、イエスのようであるからです。 18愛には恐れがない。完全な愛は恐れを締め出します。なぜなら、恐れは罰を伴い、恐れる者には愛が全うされていないからです。 19わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。 20「神を愛している」と言いながら兄弟を憎む者がいれば、それは偽り者です。目に見える兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することができません。 21神を愛する人は、兄弟をも愛すべきです。これが、神から受けた掟です。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福音書 　ヨハネ 15: 1～ 8 (新198)

15:1「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。 2わたしにつながっていながら、実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊かに実を結ぶように手入れをなさる。 3わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている。 4わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていなければ、実を結ぶことができない。 5わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。 6わたしにつながっていない人がいれば、枝のように外に投げ捨てられて枯れる。そして、集められ、火に投げ入れられて焼かれてしまう。 7あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。 8あなたがたが豊かに実を結び、わたしの弟子となるなら、それによって、わたしの父は栄光をお受けになる。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

2021年5月9日 復活節第6主日 (白)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　使徒言行録 10:44～48 (新234)

第2朗読　一ヨハネ 5: 1～ 6 (新446)

福 音 書　ヨハネ 15: 9～17 (新198)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Of. 98（詩篇98:1-9）

しいをにかってえ。はくべきみをしげられた。

のみ、なるみによって、はいのみをたされた。

はいをし、

みのみをののにされた。

イスラエルのにするしみとまことをみにめられた。

のてまですべてのはわたしたちののいのみをた。

よ、にかってびのびをあげよ。

をあげ、びい、ほめえ。

にわせてほめえ、

にわせ、のにわせてえ。

ラッパをき、をかせ、

なるのみにびのびをあげよ。

とどろけ、とそこにちるもの、

え、とそこにむもの。

よ、をちらし、よ、にびえ、をえて。

はられる、をくために。はをしくき、のをにかれる。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Pr.

。あなたはあなたをするに、りれないびをえてくださいました。いをはるかにえたにかることができるように、すべてにってあなたをするをいでください。あなたととともにただりの、の、、イエス・キリストによってります。アーメン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　使徒言行録 10:44～48 (新234)

10:44ペトロがこれらのことをなおも話し続けていると、御言葉を聞いている一同の上に聖霊が降った。 45割礼を受けている信者で、ペトロと一緒に来た人は皆、聖霊の賜物が異邦人の上にも注がれるのを見て、大いに驚いた。 46異邦人が異言を話し、また神を賛美しているのを、聞いたからである。そこでペトロは、 47「わたしたちと同様に聖霊を受けたこの人たちが、水で洗礼を受けるのを、いったいだれが妨げることができますか」と言った。 48そして、イエス・キリストの名によって洗礼を受けるようにと、その人たちに命じた。それから、コルネリウスたちは、ペトロになお数日滞在するようにと願った。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第2朗読 　一ヨハネ 5: 1～ 6 (新446)

5:1イエスがメシアであると信じる人は皆、神から生まれた者です。そして、生んでくださった方を愛する人は皆、その方から生まれた者をも愛します。 2このことから明らかなように、わたしたちが神を愛し、その掟を守るときはいつも、神の子供たちを愛します。 3神を愛するとは、神の掟を守ることです。神の掟は難しいものではありません。 4神から生まれた人は皆、世に打ち勝つからです。世に打ち勝つ勝利、それはわたしたちの信仰です。 5だれが世に打ち勝つか。イエスが神の子であると信じる者ではありませんか。

6この方は、水と血を通って来られた方、イエス・キリストです。水だけではなく、水と血とによって来られたのです。そして、“霊”はこのことを証しする方です。“霊”は真理だからです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福音書 　ヨハネ 15: 9～17 (新198)

15:9父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。 10わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。

11これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。 12わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。 13友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。 14わたしの命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。 15もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。 16あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。 17互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

2021年5月13日 又は 5月16日 主の昇天 (白)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　使徒言行録 1: 1～11 (新213)

第2朗読　エフェソ 1:15～23

福 音 書　ルカ 24:44～53

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Of. 47（詩篇47:2-10）

すべてのよ、をちらせ。にかってびい、びをあげよ。

はいとき、るべき。をされるな。

のをらにわせ、をらのもとにかれた。

らのためにをび、するヤコブのりとされた。

はのをられる。はのきとにられる。

え、にかってえ。え、らのにかってえ。

はの。ほめをうたって、げらせよ。

はのにとしてされる。はなるにいておられる。

のからながめられ、アブラハムののとなる。

のとなるはのもの。はいにあがめられる。

Of. 93（詩篇93）

こそ。をとし、をとし、にびられる。

　　はくえられ、してらぐことはない。

みはいにしえよりくえられ、

　　あなたはとこしえのからしておられます。

よ、はり、はをあげる。

　　はうちせ、きわたる。

のとどろくよりもくにける。

　　さらにく、くいます。

よ、あなたのめはかであり、

　　のくり、あなたのにはふさわしい。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Pr.

の。はにげられ、のでたちのためにとりなしてくださいます。のためのたちのりをき、わりのにすべてのものをあなたののうちに入れてください。あなたととともにただりの、の、、イエス・キリストによってります。アーメン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　使徒言行録 1: 1～11 (新213)

1:1-2テオフィロさま、わたしは先に第一巻を著して、イエスが行い、また教え始めてから、お選びになった使徒たちに聖霊を通して指図を与え、天に上げられた日までのすべてのことについて書き記しました。

3イエスは苦難を受けた後、御自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された。 4そして、彼らと食事を共にしていたとき、こう命じられた。「エルサレムを離れず、前にわたしから聞いた、父の約束されたものを待ちなさい。 5ヨハネは水で洗礼を授けたが、あなたがたは間もなく聖霊による洗礼を授けられるからである。」

6さて、使徒たちは集まって、「主よ、イスラエルのために国を建て直してくださるのは、この時ですか」と尋ねた。 7イエスは言われた。「父が御自分の権威をもってお定めになった時や時期は、あなたがたの知るところではない。 8あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」 9こう話し終わると、イエスは彼らが見ているうちに天に上げられたが、雲に覆われて彼らの目から見えなくなった。 10イエスが離れ去って行かれるとき、彼らは天を見つめていた。すると、白い服を着た二人の人がそばに立って、 11言った。「ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第2朗読 　エフェソ 1:15～23

1:15こういうわけで、わたしも、あなたがたが主イエスを信じ、すべての聖なる者たちを愛していることを聞き、 16祈りの度に、あなたがたのことを思い起こし、絶えず感謝しています。 17どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の源である御父が、あなたがたに知恵と啓示との霊を与え、神を深く知ることができるようにし、 18心の目を開いてくださるように。そして、神の招きによってどのような希望が与えられているか、聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださるように。 19また、わたしたち信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力が、どれほど大きなものであるか、悟らせてくださるように。 20神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着かせ、 21すべての支配、権威、勢力、主権の上に置き、今の世ばかりでなく、来るべき世にも唱えられるあらゆる名の上に置かれました。 22神はまた、すべてのものをキリストの足もとに従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として教会にお与えになりました。 23教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福音書 　ルカ 24:44～53

24:44イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」 45そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、 46言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。 47また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、 48あなたがたはこれらのことの証人となる。 49わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」

50イエスは、そこから彼らをベタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。 51そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。 52彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、 53絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

2021年5月16日 復活節第７主日 (白)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　使徒言行録 1:15～17,21～26 (新214)

第2朗読　一ヨハネ 5: 9～13 (新446)

福 音 書　ヨハネ 17: 6～19 (新202)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Of. 1（詩篇1:1-6）

いかにいなことか。にらうのらいにってまず、あるのにとどまらず、

　　なとにらず、のえをび、のえをももずさむ。

そのはれのほとりにえられた。ときがりればをび、もしおれることがない。

　　そののすることはすべて、をもたらす。

にらうはそうではない。はにきばされるもみ。

　　にらうはきにえず、あるはにうのいにえない。

にうのをはっていてくださる。

　　にらうのはびにる。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Pr.

みとの。あなたは、のものとしてたちをび、にちたキリストのによって、からってくださいます。たちとこのをのによってりえてください。あなたととともにただりの、の、、イエス・キリストによってります。アーメン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　使徒言行録 1:15～17,21～26 (新214)

1:15そのころ、ペトロは兄弟たちの中に立って言った。百二十人ほどの人々が一つになっていた。 16「兄弟たち、イエスを捕らえた者たちの手引きをしたあのユダについては、聖霊がダビデの口を通して預言しています。この聖書の言葉は、実現しなければならなかったのです。 17ユダはわたしたちの仲間の一人であり、同じ任務を割り当てられていました。

1:21-22そこで、主イエスがわたしたちと共に生活されていた間、つまり、ヨハネの洗礼のときから始まって、わたしたちを離れて天に上げられた日まで、いつも一緒にいた者の中からだれか一人が、わたしたちに加わって、主の復活の証人になるべきです。」 23そこで人々は、バルサバと呼ばれ、ユストともいうヨセフと、マティアの二人を立てて、 24次のように祈った。「すべての人の心をご存じである主よ、この二人のうちのどちらをお選びになったかを、お示しください。 25ユダが自分の行くべき所に行くために離れてしまった、使徒としてのこの任務を継がせるためです。」 26二人のことでくじを引くと、マティアに当たったので、この人が十一人の使徒の仲間に加えられることになった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第2朗読 　一ヨハネ 5: 9～13 (新446)

5:9わたしたちが人の証しを受け入れるのであれば、神の証しは更にまさっています。神が御子についてなさった証し、これが神の証しだからです。 10神の子を信じる人は、自分の内にこの証しがあり、神を信じない人は、神が御子についてなさった証しを信じていないため、神を偽り者にしてしまっています。 11その証しとは、神が永遠の命をわたしたちに与えられたこと、そして、この命が御子の内にあるということです。 12御子と結ばれている人にはこの命があり、神の子と結ばれていない人にはこの命がありません。

13神の子の名を信じているあなたがたに、これらのことを書き送るのは、永遠の命を得ていることを悟らせたいからです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福音書 　ヨハネ 17: 6～19 (新202)

17:6世から選び出してわたしに与えてくださった人々に、わたしは御名を現しました。彼らはあなたのものでしたが、あなたはわたしに与えてくださいました。彼らは、御言葉を守りました。 7わたしに与えてくださったものはみな、あなたからのものであることを、今、彼らは知っています。 8なぜなら、わたしはあなたから受けた言葉を彼らに伝え、彼らはそれを受け入れて、わたしがみもとから出て来たことを本当に知り、あなたがわたしをお遣わしになったことを信じたからです。 9彼らのためにお願いします。世のためではなく、わたしに与えてくださった人々のためにお願いします。彼らはあなたのものだからです。 10わたしのものはすべてあなたのもの、あなたのものはわたしのものです。わたしは彼らによって栄光を受けました。 11わたしは、もはや世にはいません。彼らは世に残りますが、わたしはみもとに参ります。聖なる父よ、わたしに与えてくださった御名によって彼らを守ってください。わたしたちのように、彼らも一つとなるためです。 12わたしは彼らと一緒にいる間、あなたが与えてくださった御名によって彼らを守りました。わたしが保護したので、滅びの子のほかは、だれも滅びませんでした。聖書が実現するためです。 13しかし、今、わたしはみもとに参ります。世にいる間に、これらのことを語るのは、わたしの喜びが彼らの内に満ちあふれるようになるためです。 14わたしは彼らに御言葉を伝えましたが、世は彼らを憎みました。わたしが世に属していないように、彼らも世に属していないからです。 15わたしがお願いするのは、彼らを世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。 16わたしが世に属していないように、彼らも世に属していないのです。 17真理によって、彼らを聖なる者としてください。あなたの御言葉は真理です。 18わたしを世にお遣わしになったように、わたしも彼らを世に遣わしました。 19彼らのために、わたしは自分自身をささげます。彼らも、真理によってささげられた者となるためです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

2021年5月23日 聖霊降臨（ペンテコステ） （赤）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　使徒言行録 2: 1～21 (新214)　またはエゼキエル 37: 1～14 (旧1357)

第2朗読　ローマ 8:22～27 (新284)　または使徒言行録 2: 1～21 (新214)

福 音 書　ヨハネ 15:26～27;16:4b～15 (新199)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Of. 104改1（詩篇104:24-34,35b）

よ、みはいかにおびただしいことか。あなたはすべてをによってしげられた。

はおりになったものでちている。

じように、もきくかで、そのをきまわるのきはれない。

がそこをきい、おりになったレビヤタンもそこにれる。

らはすべて、あなたにみをおき、にじてべをくださるのをっている。

あなたがおえになるものをらはめ、みをかれるとらはいでちりる。

みをされればらはれ、きをりげられるとらはえ、のにる。

あなたはごのをってらをし、のをたにされる。

どうか、のがとこしえにくように。

がごのをびわれるように。

がをされるとはえ、はれられるとをげる。

あるり、わたしはにかってい、らえるり、わたしのにほめをうたおう。

どうか、わたしのがみにかなうように。

わたしはにかってびおう。

わたしのよ、をたたえよ。

をたたえよ、ハレルヤ。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Pr.

の。あなたはれたにのをきこみ、によってこのにをされました。たちにをぎ、あなたのによってりえ、のをげらせるにしてください。あなたととともにただりの、の、、イエス・キリストによってります。アーメン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　使徒言行録 2: 1～21 (新214)

2:1五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、 2突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。 3そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。 4すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話しだした。

5さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、 6この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あっけにとられてしまった。 7人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。 8どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。 9わたしたちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、 10フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接するリビア地方などに住む者もいる。また、ローマから来て滞在中の者、 11ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もおり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」 12人々は皆驚き、とまどい、「いったい、これはどういうことなのか」と互いに言った。 13しかし、「あの人たちは、新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、あざける者もいた。

14すると、ペトロは十一人と共に立って、声を張り上げ、話し始めた。「ユダヤの方々、またエルサレムに住むすべての人たち、知っていただきたいことがあります。わたしの言葉に耳を傾けてください。 15今は朝の九時ですから、この人たちは、あなたがたが考えているように、酒に酔っているのではありません。 16そうではなく、これこそ預言者ヨエルを通して言われていたことなのです。

17『神は言われる。

終わりの時に、

わたしの霊をすべての人に注ぐ。

すると、あなたたちの息子と娘は預言し、

若者は幻を見、老人は夢を見る。

18わたしの僕やはしためにも、

そのときには、わたしの霊を注ぐ。

すると、彼らは預言する。

19上では、天に不思議な業を、

下では、地に徴を示そう。

血と火と立ちこめる煙が、それだ。

20主の偉大な輝かしい日が来る前に、

太陽は暗くなり、

月は血のように赤くなる。

21主の名を呼び求める者は皆、救われる。』

またはエゼキエル 37: 1～14 (旧1357)

37:1主の手がわたしの上に臨んだ。わたしは主の霊によって連れ出され、ある谷の真ん中に降ろされた。そこは骨でいっぱいであった。 2主はわたしに、その周囲を行き巡らせた。見ると、谷の上には非常に多くの骨があり、また見ると、それらは甚だしく枯れていた。 3そのとき、主はわたしに言われた。「人の子よ、これらの骨は生き返ることができるか。」わたしは答えた。「主なる神よ、あなたのみがご存じです。」 4そこで、主はわたしに言われた。「これらの骨に向かって預言し、彼らに言いなさい。枯れた骨よ、主の言葉を聞け。 5これらの骨に向かって、主なる神はこう言われる。見よ、わたしはお前たちの中に霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。 6わたしは、お前たちの上に筋をおき、肉を付け、皮膚で覆い、霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。そして、お前たちはわたしが主であることを知るようになる。」

7わたしは命じられたように預言した。わたしが預言していると、音がした。見よ、カタカタと音を立てて、骨と骨とが近づいた。 8わたしが見ていると、見よ、それらの骨の上に筋と肉が生じ、皮膚がその上をすっかり覆った。しかし、その中に霊はなかった。 9主はわたしに言われた。「霊に預言せよ。人の子よ、預言して霊に言いなさい。主なる神はこう言われる。霊よ、四方から吹き来れ。霊よ、これらの殺されたものの上に吹きつけよ。そうすれば彼らは生き返る。」

10わたしは命じられたように預言した。すると、霊が彼らの中に入り、彼らは生き返って自分の足で立った。彼らは非常に大きな集団となった。

11主はわたしに言われた。「人の子よ、これらの骨はイスラエルの全家である。彼らは言っている。『我々の骨は枯れた。我々の望みはうせ、我々は滅びる』と。 12それゆえ、預言して彼らに語りなさい。主なる神はこう言われる。わたしはお前たちの墓を開く。わが民よ、わたしはお前たちを墓から引き上げ、イスラエルの地へ連れて行く。 13わたしが墓を開いて、お前たちを墓から引き上げるとき、わが民よ、お前たちはわたしが主であることを知るようになる。 14また、わたしがお前たちの中に霊を吹き込むと、お前たちは生きる。わたしはお前たちを自分の土地に住まわせる。そのとき、お前たちは主であるわたしがこれを語り、行ったことを知るようになる」と主は言われる。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第2朗読 　ローマ 8:22～27 (新284)

8:22被造物がすべて今日まで、共にうめき、共に産みの苦しみを味わっていることを、わたしたちは知っています。 23被造物だけでなく、“霊”の初穂をいただいているわたしたちも、神の子とされること、つまり、体の贖われることを、心の中でうめきながら待ち望んでいます。 24わたしたちは、このような希望によって救われているのです。見えるものに対する希望は希望ではありません。現に見ているものをだれがなお望むでしょうか。 25わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。

26同様に、“霊”も弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。 27人の心を見抜く方は、“霊”の思いが何であるかを知っておられます。“霊”は、神の御心に従って、聖なる者たちのために執り成してくださるからです。

または使徒言行録 2: 1～21 (新214)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福音書 　ヨハネ 15:26～27;16:4b～15 (新199)

15：26わたしが父のもとからあなたがたに遣わそうとしている弁護者、すなわち、父のもとから出る真理の霊が来るとき、その方がわたしについて証しをなさるはずである。 27あなたがたも、初めからわたしと一緒にいたのだから、証しをするのである。

16：4b「初めからこれらのことを言わなかったのは、わたしがあなたがたと一緒にいたからである。 5今わたしは、わたしをお遣わしになった方のもとに行こうとしているが、あなたがたはだれも、『どこへ行くのか』と尋ねない。 6むしろ、わたしがこれらのことを話したので、あなたがたの心は悲しみで満たされている。 7しかし、実を言うと、わたしが去って行くのは、あなたがたのためになる。わたしが去って行かなければ、弁護者はあなたがたのところに来ないからである。わたしが行けば、弁護者をあなたがたのところに送る。 8その方が来れば、罪について、義について、また、裁きについて、世の誤りを明らかにする。 9罪についてとは、彼らがわたしを信じないこと、 10義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなること、 11また、裁きについてとは、この世の支配者が断罪されることである。

12言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない。 13しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。 14その方はわたしに栄光を与える。わたしのものを受けて、あなたがたに告げるからである。 15父が持っておられるものはすべて、わたしのものである。だから、わたしは、『その方がわたしのものを受けて、あなたがたに告げる』と言ったのである。」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

注）日課の組み合わせは、「使徒+ローマ+ヨハネ」または「エゼキエル+使徒+ヨハネ」とし、聖霊降臨の出来事を伝える使徒言行録２章は省かないこと。

2021年5月30日 三位一体（聖霊降臨後第１主日） (白／金）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　イザヤ 6: 1～ 8 (旧1069)

第2朗読　ローマ 8:12～17 (新284)

福 音 書　ヨハネ 3: 1～17 (新167)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Of. 29（詩篇29:1-10）

のらよ、にせよ。とをにせよ。

みのをにせよ。なるきにちるにひれせ。

のみはのにく。ののはとどろく。

はのにいます。

のみはをもってき、

のみはきをもってく。

のみはのをき、はレバノンののをき、

レバノンをのように、シルヨンをののようにらせる。

のみはをいてらせる。

のみはれをわせ、はカデシュのれをわせる。

のみはをおののかせ、ちぬうちにをませる。

のものみなはえる。「あれ」

はのにみをおく。

　　とこしえのとして、はみをおく。

がにをおえになるように。

　　がをしてをおえになるように。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Pr.

のである。がられる、のまるから、あなたは位のとして、の、のいの、をえるのです。あなたのによってをことごとくり、キリストがしたすべてをべえ、のびににることができますように。とがととであるあなたにももにありますように。アーメン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第1朗読　イザヤ 6: 1～ 8 (旧1069)

6:1ウジヤ王が死んだ年のことである。 わたしは、高く天にある御座に主が座しておられるのを見た。衣の裾は神殿いっぱいに広がっていた。 2上の方にはセラフィムがいて、それぞれ六つの翼を持ち、二つをもって顔を覆い、二つをもって足を覆い、二つをもって飛び交っていた。 3彼らは互いに呼び交わし、唱えた。

「聖なる、聖なる、聖なる万軍の主。

主の栄光は、地をすべて覆う。」

4この呼び交わす声によって、神殿の入り口の敷居は揺れ動き、神殿は煙に満たされた。 5わたしは言った。

「災いだ。わたしは滅ぼされる。

わたしは汚れた唇の者。

汚れた唇の民の中に住む者。

しかも、わたしの目は

王なる万軍の主を仰ぎ見た。」

6するとセラフィムのひとりが、わたしのところに飛んで来た。その手には祭壇から火鋏で取った炭火があった。 7彼はわたしの口に火を触れさせて言った。

「見よ、これがあなたの唇に触れたので

あなたの咎は取り去られ、罪は赦された。」

8そのとき、わたしは主の御声を聞いた。

「誰を遣わすべきか。

誰が我々に代わって行くだろうか。」

わたしは言った。

「わたしがここにおります。

わたしを遣わしてください。」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

第2朗読 　ローマ 8:12～17 (新284)

8:12それで、兄弟たち、わたしたちには一つの義務がありますが、それは、肉に従って生きなければならないという、肉に対する義務ではありません。 13肉に従って生きるなら、あなたがたは死にます。しかし、霊によって体の仕業を絶つならば、あなたがたは生きます。 14神の霊によって導かれる者は皆、神の子なのです。 15あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。この霊によってわたしたちは、「アッバ、父よ」と呼ぶのです。 16この霊こそは、わたしたちが神の子供であることを、わたしたちの霊と一緒になって証ししてくださいます。 17もし子供であれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共にその栄光をも受けるからです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福音書 　ヨハネ 3: 1～17 (新167)

3:1さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。 2ある夜、イエスのもとに来て言った。「ラビ、わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようなしるしを、だれも行うことはできないからです。」 3イエスは答えて言われた。「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」 4ニコデモは言った。「年をとった者が、どうして生まれることができましょう。もう一度母親の胎内に入って生まれることができるでしょうか。」 5イエスはお答えになった。「はっきり言っておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。 6肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。 7『あなたがたは新たに生まれねばならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。 8風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。」 9するとニコデモは、「どうして、そんなことがありえましょうか」と言った。 10イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。 11はっきり言っておく。わたしたちは知っていることを語り、見たことを証ししているのに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れない。 12わたしが地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。 13天から降って来た者、すなわち人の子のほかには、天に上った者はだれもいない。 14そして、モーセが荒れ野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。 15それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。

16神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。 17神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊